

有田市コミュニティ・スクールだより



地域とともにある学校づくり

宮原小学校「水害慰霊祭」

昭和28年7月18日、和歌山県各地が、降り続く大雨のため大水害にみまわれました。宮原町も有田川の氾濫により大きな被害を受け、129名の命が奪われました。その中に、当時の宮原小学校児童も多数含まれていました。

宮原小学校では、毎年水害慰霊祭を執り行っています（昨年と今年はコロナ禍のため規模縮小）。学校行事ですが、例年は、地域・保護者・関係機関等に広く周知し、希望される方々に参列いただいています。このようにして、学校・地域・家庭がともにこの慰霊祭を大事にして継続し、水害の記憶を風化させることなく自然災害への危機管理意識を高めていく取組を行っています。



保田中学校「After School」

保田地区では、例年、学校と地域が連携・協力した取組の一つとして「保田祭」を開催しています。

「保田祭」は、中学校の文化祭（音楽会・舞台発表会・作品展）と地域の作品展（公民館のサークル活動での作品や地域の方の作品）を合同で開催しているもので、作品の鑑賞を通して生徒と地域の方の交流を図ってきました。

今年度、中学生と地域の方が一緒に活動し交流を深めることを目的に「After School」を計画しています。保田公民館のお世話により、公民館で行っているサークル活動の中から、囲碁・将棋・絵手紙・クラフト・チョークアート・日本舞踊・お琴・茶道を中学生に体験させていただきます。中学生にとっては、普段の生活ではなかなか体験できない文化的・芸術的な内容です。指導・補助は、公民館のサークル活動に参加されている講師先生や地域の方々をお願いしています。部活動休養日の放課後に実施を予定しています。（9月1日、11月10日、2月2日）

この取組が、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」つながることを願っています。



リモートによる説明のようす

学校と地域が連携・協働し、未来を担う子供たちを育てよう